

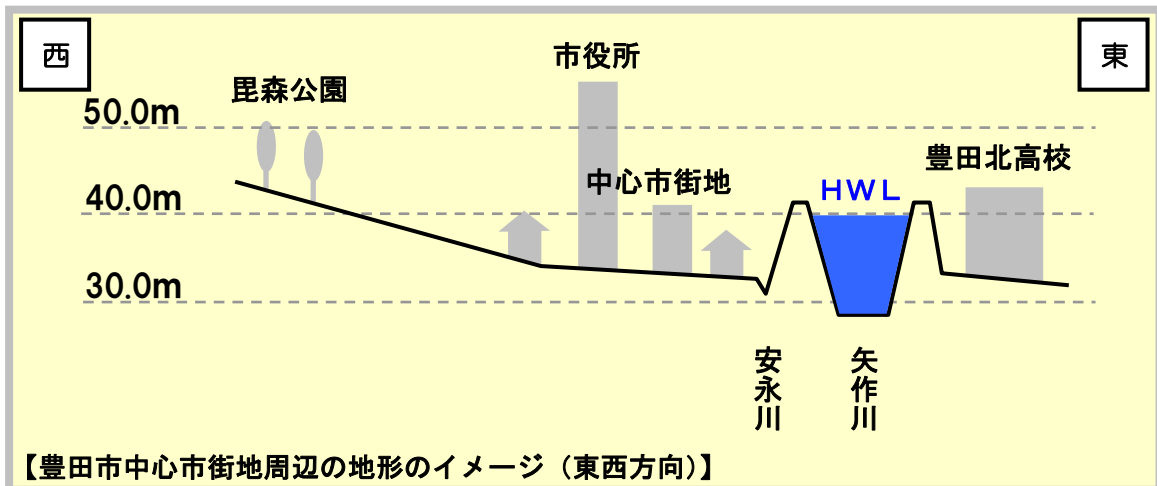
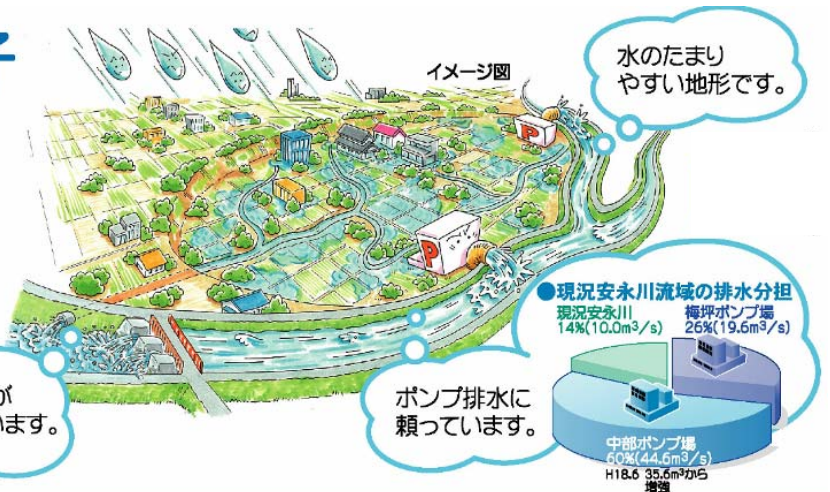
安永川流域の特徴

安永川流域の様子

安永川流域は、水のたまりやすい地形で雨水排水をポンプ排水及び流下能力不足の現況安永川に頼っています。

よって、平成12年9月の東海豪雨時は広い範囲で浸水被害が発生しました。

流下能力が不足しています。



- ・西側から南側にかけては台地（毘森公園、トヨタ自動車本社など）であり、東側には矢作川堤防があることで、安永川流域は「なべの底」のような地形になっており、雨水が溜まりやすくなっています。
- ・安永川は全川に渡って流下能力が不足していること、豊田市中心市街地に隣接する矢作川へは明治用水頭首工での取水に伴う堰上げ（せきあげ）により自然排水が難しいことから、降雨時は流域に整備したポンプによる強制排水に頼っている状況です。